

## タンデム質量分析計を用いた PCB 分析

一般的に日本における PCB の分析はガスクロマトグラフ (ECD) を用いて、工業製品であったカネクロールを標準品として定量しています。

一方、EU において 2012 年 1 月から適用となった個別食品中の PCB の最大許容基準は 6 種の主要な PCB (マーカ-PCBs\*) の合計値です。

\* PCB28, PCB52, PCB101, PCB138, PCB153, PCB180 (PCB の後ろの数字は IUPAC No.)

これらの分析に対応するには個別の異性体を分別定量する必要があります。PCB には理論的には 209 異性体が存在し、ガスクロマトグラフ (ECD) で分別定量することは難しく、ダイオキシン類と同様に高分解能質量分析計又はタンデム質量分析計を用いた分析を行います。

弊財団では、通常の PCB 分析とは別に、ガスクロマトグラフ-トリプル四重極形質量分析計 (GC-MS/MS) を用いて PCB の定量 (マーカ-PCBs 個別異性体毎) を受託しております。

試験項目	試験対象	検体量	納期	料金 (税別単価)
PCB の定量	食品, 飼料	20 g	約 1 ヶ月	90,000 円

PCB の定量は PCB118 を含んだ 7 異性体 (ドイツ基準) でも受託可能です。7 異性体分析をご希望の場合は、ご依頼時にお申し出ください。